

第8回土地家屋調査士ガイダンス開催報告（名古屋）

日 時：令和7年3月23日（日）13：30～16：30

会 場：ウインクあいち 11階1104会議室

3月23日（日）ウインクあいちにおいて、「第8回土地家屋調査士ガイダンス」が開催されました。日本土地家屋調査士会連合会中部ブロック協議会と東京法経学院の共催で、第1部は資格取得希望者への説明会、第2部は開業希望者への説明会、そして第3部は個別相談会という3部構成でした。第1部には23名、第2部には26名、第3部には14名の方にご参加いただきました。



開催にあたり、中部ブロック協議会の会長でもある梅村守愛知会会長の挨拶に始まり、東京法経学院の立石寿純代表取締役の挨拶へと続き、第1部の説明会が始まりました。第1部の講師は、三重会の会員であり、かつ、東京法経学院の人気講師でもある小林弘仁会員です。分かりやすく熱意のある話しぶりは参加者の興味を引き付け、土地家屋調査士の魅力が存分に伝わる講演でした。第1部が終わった

後、東京法経学院の職員にカリキュラムやスケジュールを問い合わせている方もおり、土地家屋調査士の魅力を感じていただいた様子でした。

続く第2部の講師は、愛知会広報部長の片岡忠雄会員で、ご自身の土地家屋調査士を目指した経緯や開業前から現在に至るまでの経験などを交え、開業前にやっておくべきことを分かりやすく参加者に語りかけていました。



最後の第3部では、出席した9名の土地家屋調査士が相談員として、相談者にマンツーマンで対応しました。各相談者とも、開業にあたっての不安や開業後の業務や生活などの不安抱えながらも、新しい世界への希望を抱いている様子が印象的でした。相談後の晴々とした表情を見ると、少なからず土地家屋調査士の魅力が伝わり、新たな

一步を踏み出してもらえるのではと、期待を大きくいたしました。筆者自身も、別業界からの転職した身であり、当時の不安や希望が蘇り、初心に帰った1日となりました。年々、受験者数、登録者数が減っている現状を踏まえると、直接希望者へ土地家屋調査士の魅力を伝える、このような機会の重要性を強く感じました。

（広報戦略 PT 委員 幡多 聡）